

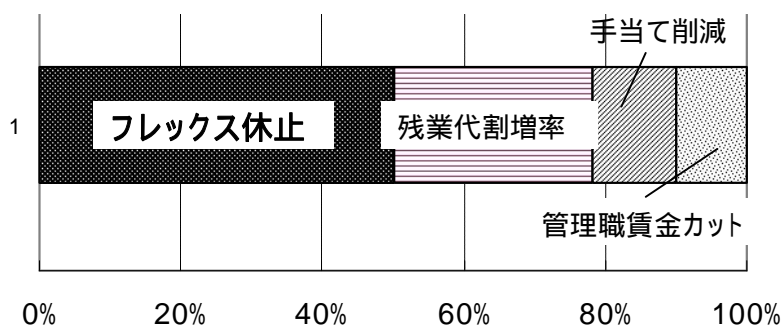
2010春闘アンケート結果

「フレックス制の復活」が圧倒的な声

NEC & 関連労働者ネットワークが実施した2010春闘アンケートの結果、昨春闘で会社が行った「逆提案」の中でも、フレックスタイム制の復活要望が一番でした。また、フレックス休止には多くの不満の声が寄せられました。(裏面参照)

会社はフレックス休止の理由として「コミュニケーションを強める」ことをあげていましたが、実際はほとんど効果がないことが判明しています。

昨年の春闘での「逆提案」で、撤回してほしい順序



会社の狙いは、従業員を長時間働かせること

会社の本当の狙いは、従業員(特に管理職、ワーク)を朝早くから働かせ、一層長時間労働をさせることではないでしょうか。しかし、フレックス休止は、子育て世代を中心に不満・不安を増大させ、仕事へのモチベーションを下げさせ、また近隣住民に迷惑をかけるなどの逆効果をもたらしています。会社は職場の圧倒的な声にこたえ、早急にフレックスタイム制を復活すべきです。

健康・メンタルヘルス問題がいっそう深刻化

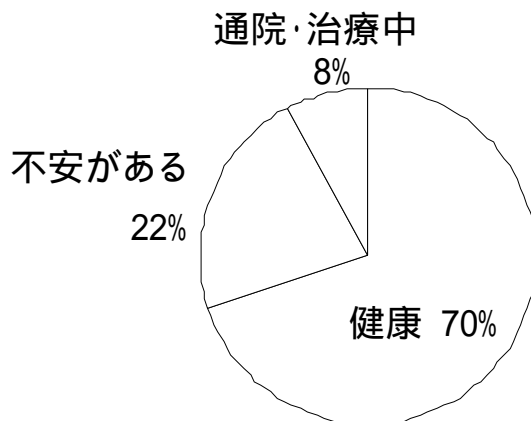
健康問題が一層深刻になっています。「健康状態」では、「不安がある」が22%、「通院・治療中」は15%に達しています。メンタルヘルスでは右図のように、「不安がある」が22%、「治療・通院中」は8%でした。(昨年は6%)

特に「ELICNEC」のwebアンケートでは、「通院・治療中」が21%に達し、切実な声が多数寄せられました。

その原因は「長時間労働による過労」「仕事上のストレス」「上司のいじめ」など、会社内で起きたものがほとんどです。また、「仕事が原因でうつ病になったら、リストラ候補になった」との声があるように、会社はメンタルヘルス問題に真剣に取り組むどころか、会社から排除しようとする例もあります。

会社はメンタルヘルスをなくす対策を早急に行い、また、うつ病などにかかった人の職場復帰に真剣に取り組むべきです。

メンタルヘルスの状態



ELICNEC ホームページ全面リニューアル : <http://www.elicnec.com/>

- ・ブログ開設、「雇用延長」「リストラ」「パワハラ・セクハラ」「メンタルヘルス」のコーナー開設。
- ・フレックスタイム 休止経過確認アンケート 募集中!

NEC & 関連労働者ネットワーク 2010年2月

ELICNEC

(連絡先) 田町: 山崎栄一 042-729-8084

玉川: 森 英一 090-4834-6876

府中: 益田武廣 080-3389-0028

ELICNEC URL : <http://www.elicnec.com/>

2010春闘アンケート 主な集計結果 (詳細は ELICNEC ホームページをご覧ください)

生活実感: 「かなり苦しい」20%、「やや苦しい」48%、「まあまあだ」27%、「ややゆとり」5%

賃上げ必要額: 「2万円以下」21%、「3万円」29%、「4万円」14%、「5万円以上」36%

成果主義: 「このままでよい」11%、「見直すべき」53%、「どちらともいえない」36%

雇用延長: 「08春闘での見直しに満足」10%、「改善すべき」64%、「今の制度ではとらない」26%

春闘アンケートには、多くの声が寄せられました。フレックス休止、残業規制、低賃金、雇用延長問題、メンタルヘルス問題など、職場には不安、不満、怒りが渦巻いています。その声の一部をお伝えします。(詳細は ELICNEC ホームページ)

雇用延長を申請すると定年前の賃金が2割カットされるのはおかしい。ポリシーがわからない。

玉川40代男性

派遣社員ですが、いつ辞めさせられるかわかりません。先が見えない状況がとても怖いです。派遣社員から正社員になれる方法などはないのでしょうか？

玉川20代女性

B 職級の人に対して、仕事量と質が公平でない。庶務の給与が安い。

玉川30代女性

社員の高齢化、低年齢層への配慮、教育や環境が不十分。

本社30代男性

残業規制を撤回してほしい。結局、自宅での業務を余儀なくされる。早く帰らせる割に、業務量は減らない。

NECEL20代男性

病気を理由にリストラ(解雇)をやるのは、労働者いじめ。玉川40代男性

フレックス休止は非論理的。実施して実現したのは朝/夕の電車を含む混雑だけ。

田町20代男性

職場からの 声

夏のボーナスは16万円減、冬はさらに3万円減。何とかしてくれ!

NECT甲府50代男性

残業ゼロ規制で仕事は進まず、収入も減りました。「逆提案」のような精神論で会社が甦ると考えるのは竹槍でB-29を落とす様なもので逆効果です。ビジョンバリューが聞いて呆れます。府中40代男性

フレックス制度を休止していったい何が良くなったのか全くわからない。即刻復活すべき。

府中40代男性

国が65歳まで働く道を探っているのに、57歳で60歳から先の労働力を切ってしまう。

田町40代男性

フレックス制度の休止のために、育児がしにくくなっている。フレックス制度の再開を早期に合意してほしい。

田町30代男性

「がん検診(生活習慣病健診)」の有料化(1回3000円)をやめさせよう

NECは渋谷の健診センターで行っている「生活習慣病健診」を今年の4月から「がん検診」に変更し有料化(3000円)を組合に提案しています。現在は80%の人がこの検診を受けていますが、有料化により、受診率が極端に低下するのは確実です。会社は「がん検診」は毎年受けられるようになるというのですが、有料化で受診率が低下すれば、かえってがんの発見が遅れることとなります。

今、メンタルヘルスを含めて従業員の健康が急速に悪化しており、会社には従業員の健康を管理する責任があります。「がん検診」は無料にし、だれでも受診できるようにすべきです。